



北小岩にお住まいの皆さまへ

4月より沿川まちづくり課長となりました、吉野 隆文です。江戸川区から東京都都市整備局市街地整備部企画課に出向し、まちづくりに携わってきました。この経験を活かし、皆さまと北小岩のまちづくりについて、お話し合いをしながら進めさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

江戸川区は7割が満潮時海面下となる地形であり、自然災害により堤防が決壊した場合、その被害は甚大なものとなります。

スーパー堤防は、洪水、高潮、地震等が発生しても決壊しない堤防であり、また一部区間であっても、完成すれば北小岩地区にとっては貴重な高台の避難場所となります。スーパー堤防とまちづくり事業を合わせて行い、地域のまちの課題を解消するために、微力ながらも尽くしていきたいと考えています。

現在の堤防は、これまでに発生した洪水、高潮、地震から想定される基準をもとに整備が進められています。しかし、今夏も九州での大雨、7月の観測史上最大級の台風第4号、新潟県中越沖地震と記録的な災害が起こっています。これらの災害は決して対岸の火事ではなく、いつ我々の身に起こってもおかしくないものです。

スーパー堤防とまちづくりについて、地域の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

沿川まちづくり課長 吉野 隆文

台風、地震…各地で災害が起きています



緑川（熊本県）の様子 国交省HP

7月5日から7日にかけて日本付近に停滞した梅雨前線と台風4号の上陸により、5日から16日までの総雨量は、南西諸島、九州、四国、東海、関東地方の各地で7月の平均雨量の2倍を超えるなど、各地で記録的な大雨となりました。

7月16日に起こった新潟県中越沖地震では、柏崎市や刈羽村それに長野県飯綱町で震度6強の激しい揺れを観測し、家屋の倒壊等により11人が死亡し、これまでに1926人がけがをしました。また、被害を受けた建物は2万4572棟にのぼり、今も柏崎市を中心に2100人余りが避難生活を続けています。

新潟県によると、今回の地震による被害は、家屋等の倒壊やライフラインが停止した影響などで、総額にして1兆5000億円にのぼる見込みです。



柏崎市 倒壊した家屋

(江戸川区職員7月19日撮影)

江戸川町会18班地区でまちづくりの話し合いをしています

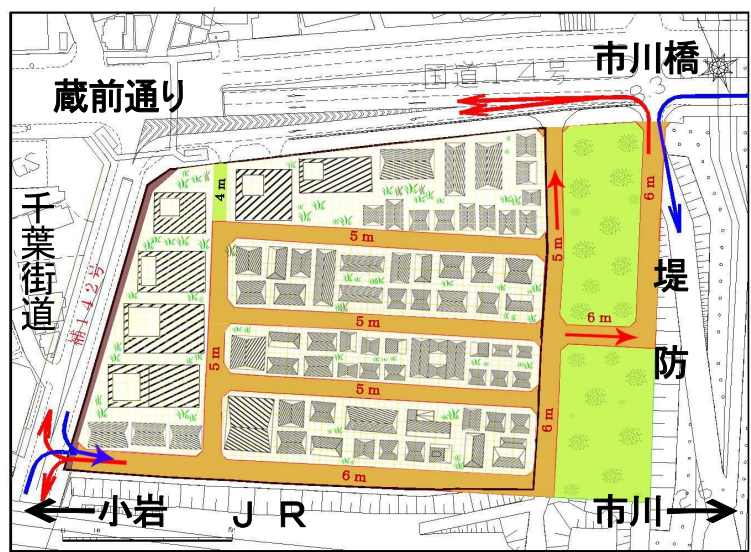
6月30日(土)、小岩アーバンプラザにて、北小岩江戸川町会18班(北小岩1丁目20番、21番)の方を対象としたまちづくり意見交換会を行いました。この意見交換会の内容について、誤った情報が流されていますので、この場にて正しい情報をお伝えします。

18班地区では、地域の課題解消のためのまちづくりの説明をしてほしいとの要望があり、勉強会、ワークショップ、意見交換会等を行ってきています。

■まちづくり案は、区と4人の住民代表が作ったものである

昨年末から開催したワークショップでは、のべ85名の方にご参加いただきました。同時に地域の皆さまへアンケートを実施するなど、決して一部の人間だけで作ったものではなく、18班地区の参加された皆さまの考え・意見の最大公約数ともいえる成果として出来上がったものです。

3回にわたるワークショップでは、お住まいの方々と、いまのまちの課題と今後のまちづくりの目標、道路の幅員と減歩のしくみ、道路の配置についての共同作業と話し合いをさせていただきました。



まちづくり(案)

■まちづくり(案)は、一軒家・平屋住宅は見当たらず、全てが減歩の結果、集合・共同住宅になっている

蔵前通りと千葉街道沿いは、現在の用途地域にあわせて、近隣商業地域として中高層建物が想定されていますが、それ以外はすべて戸建てになっています。当然、戸建て住宅は必要数が配置されており、全てが減歩の結果、集合・共同住宅になっているというのは全くの誤りです。また、このまちづくり(案)は決定のものではなく、今後地区にお住まいの皆さまとのまちづくりのルール等についての話し合いで、より良いものへと変わっていきます。

■立体模型は平地の上に作られている

立体模型は、1/250の縮尺で作られており、面積も傾斜も精確に縮小されています。

スーパー堤防化によって段差が解消され街路の整備、住宅地の緩傾斜の様子など、新しい街並みがよくわかるものです。平地だと言われている約3%の傾斜のついた街並みの部分は、とりはずしができ、現在のまちと将来のまちの雰囲気比較ができます。



18班地区の立体模型

18班地区の立体模型を公開します!

日時 8月9日(木) 午前10時から午後8時まで

場所 小岩アーバンプラザ 集会室 第2

上記の日時・場所で、18班地区の立体模型を展示します。

職員による模型についての説明や個別相談をお受けします。お気軽にお越しください。

★ご意見・ご質問などありましたら、お気軽にお問い合わせください。

えんせん

沿川まちづくり課推進第一係まで TEL 5662-6735

【URL】 http://www.city.edogawa.tokyo.jp/sec_ensen/index.html

